

ダイワ／ジャナス米国中型 グロース株ファンド (為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

運用報告書(全体版) 第9期

(決算日 2022年4月18日)

(作成対象期間 2021年10月19日～2022年4月18日)

■信託期間を5年間延長し、信託期間終了日を
2022年10月18日から2027年10月18日に変更しました。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	2017年10月19日～2027年10月18日		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資 対 象	ベビーファンド	ダイワ／ジャナス米国中型グ ロース株マザーファンドの受 益証券	
	ダイワ／ジャナス 米国中型グロース 株マザーファンド	米国の金融商品取引所上場お よび店頭登録（上場予定およ び店頭登録予定を含みます。） の株式（DR（預託証券） を含みます。）および不 動産投資信託証券	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売 買益（評価益を含みます。）等とし、原則とし て、基準価額の水準等を勘案して分配金額を 決定します。ただし、分配対象額が少額の場合 には、分配を行なわないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼
申し上げます。

当ファンドは、米国の中型株式に投資
し、信託財産の成長をめざしております。当
作成期につきましてもそれに沿った運用を行
ないました。ここに、運用状況をご報告申し
上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよ
う、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<2750>
<2751>

為替ヘッジあり

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (米ドルベース)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
5 期末(2020年 4 月20日)	10,291	0	△ 11.9	11,223	△ 4.1	90.4	—	3.9	2,123
6 期末(2020年10月19日)	12,344	600	25.8	13,602	21.2	91.3	—	2.5	1,965
7 期末(2021年 4 月19日)	13,733	1,400	22.6	16,341	20.1	90.0	—	2.7	1,817
8 期末(2021年10月18日)	13,452	700	3.1	17,458	6.8	97.5	—	1.9	1,592
9 期末(2022年 4 月18日)	12,400	0	△ 7.8	17,150	△ 1.8	99.7	—	1.9	1,147

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (米ドルベース) は、S & P 500指数 (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：13,452円

期末：12,400円（分配金0円）

騰落率：△7.8%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

米国中型株式市場が下落したことにより保有株式が値下がりし、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジあり）

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (米ドルベース)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資信託 証券 組入比率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首)2021年10月18日	13,452	—	17,458	—	97.5	—	1.9
10月末	13,495	0.3	17,946	2.8	95.8	—	1.7
11月末	13,420	△ 0.2	18,176	4.1	93.1	—	1.6
12月末	13,770	2.4	18,714	7.2	95.3	—	1.8
2022年 1 月末	12,490	△ 7.2	17,303	△ 0.9	97.4	—	1.7
2 月末	12,770	△ 5.1	17,119	△ 1.9	95.9	—	1.7
3 月末	12,927	△ 3.9	17,969	2.9	95.8	—	1.8
(期末)2022年 4 月18日	12,400	△ 7.8	17,150	△ 1.8	99.7	—	1.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2021. 10. 19 ～ 2022. 4. 18）

■ 米国中型株式市況

米国中型株式市場は下落しました。

米国中型株式市場は、米国の底堅い経済指標や堅調な企業決算を背景に、当作成期首より堅調な立ち上がりとなりましたが、その後、インフレ率の上昇や新型コロナウイルスのオミクロン株への懸念が強まり下落しました。2021年12月に入るとオミクロン株への警戒が和らぎ持ち直しましたが、2022年1月にはF R B（米国連邦準備制度理事会）が早期利上げに積極姿勢を示したことから、下落しました。2月以降は、ウイルスの感染者数減少や経済活動正常化などの好材料の一方で、インフレを背景としたF R Bによる金融引き締めスタンスやウクライナ情勢などに一喜一憂する展開となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の中型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスク低減のため為替ヘッジを行います。

■ ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行ってまいります。

新型コロナウイルス変異株の感染拡大やサプライチェーン（供給網）の混乱による原材料価格の高騰、インフレ圧力の高まりに加え、米国の債務上限問題なども株式市場のボラティリティを高める要因として慎重にみています。F R B（米国連邦準備制度理事会）によるテーパリング（量的緩和の縮小）開始は、短期的に米国の経済成長ペースを鈍化させる可能性があることから、相場急変のリスクに備えたポートフォリオを維持しています。引き続き、不透明感の残る環境においても収益拡大が期待できる銘柄の見極めを重視しつつ、長期的な観点で成長が期待でき、バリュエーションが適正な企業の発掘に注力していく方針です。

当ファンドでは、経営陣の質、企業規模、成長の持続性、市場シェアなどの観点から徹底した企業分析を行い、バリュエーションが妥当と判断できる銘柄の選別を重視していきます。今後も市場環境に留意しつつ、財務基盤が良好で高い投下資本利益率が期待できる銘柄に投資していく方針です。

ポートフォリオについて

（2021. 10. 19 ～ 2022. 4. 18）

当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券に投資し、組入比率を高位に維持しました。また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスク低減のため、為替ヘッジを行いました。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

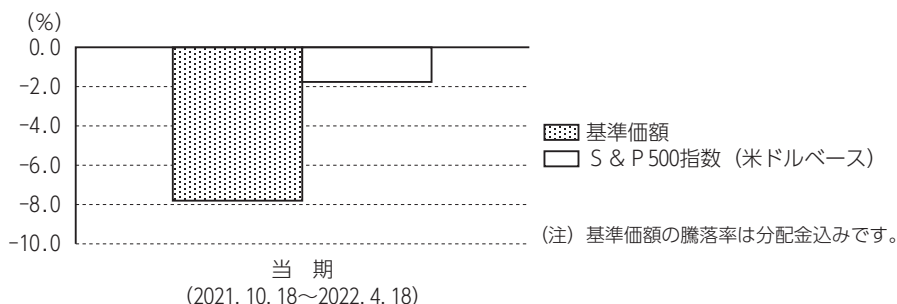
当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシー（商号変更しました。）に運用の指図にかかる権限を委託しております。

株式組入比率は高位を維持しました。セクター別では、引き続き、長期的な成長が期待できる情報技術セクターを中心としたポートフォリオを維持しました。金利上昇が逆風となる可能性がある不動産や一般消費財・サービスセクターの保有比率を引き下げた一方、金利上昇の環境下でも堅調なパフォーマンスが期待できるコミュニケーション・サービスやヘルスケアセクターの保有比率を引き上げました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2021年10月19日 ～2022年 4月18日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	3,159

- （注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- （注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- （注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の中型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスク低減のため、為替ヘッジを行います。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

インフレの長期化やロシアによるウクライナ侵攻により商品価格が上昇し、世界経済の先行き不透明感が強まることが懸念されます。今後、原材料価格の上昇、労働需給のひっ迫および金利上昇による実態経済への悪影響が見られるようになった場合には、利上げペースをめぐる不確実性を背景にボラティリティが上昇する可能性が高いと考えます。不透明感の継続を考慮し、当戦略は、強固なファンダメンタルズを持ち、持続的な収益成長が期待できる銘柄を見極めることに注力します。引き続き、質が高く、バリュエーションが適正な銘柄を中心にポートフォリオを構築し、長期的に良好なリスク調整後リターンを獲得をめざす方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2021. 10. 19～2022. 4. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	117円	0.894%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は13,074円です。
（投 信 会 社）	(61)	(0.466)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(54)	(0.411)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	1	0.007	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(1)	(0.007)	
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株 式）	(0)	(0.000)	
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
そ の 他 費 用	2	0.018	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(2)	(0.014)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	120	0.919	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

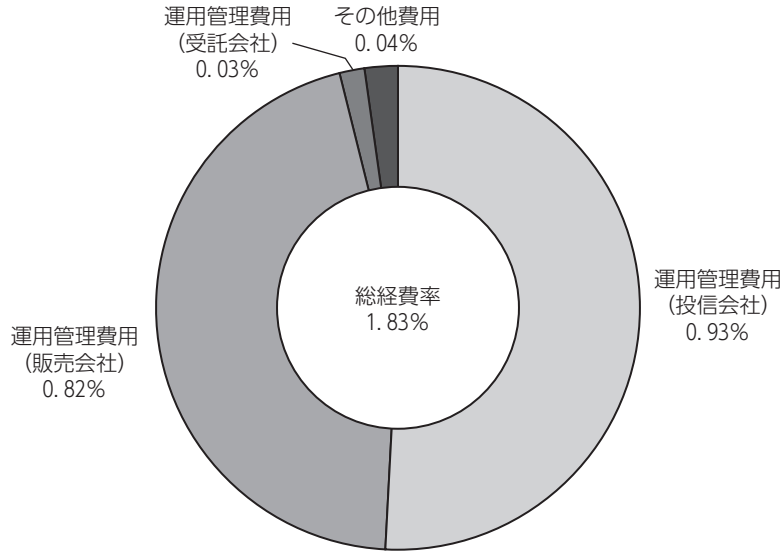
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.83%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジあり）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2021年10月19日から2022年4月18日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	9,382	18,000	264,147	494,100

（注）単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

（2021年10月19日から2022年4月18日まで）

項 目	当 期
	ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	2,118,603千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	7,570,426千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.27

（注1）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

（注2）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首			当 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円	千口	千口	千円
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	854,294	599,529	1,193,302			

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年4月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	1,193,302	98.7
コール・ローン等、その他	15,952	1.3
投資信託財産総額	1,209,255	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、4月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝126.68円です。

（注3）ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(7,564,104千円)の投資信託財産総額(7,604,615千円)に対する比率は、99.5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年4月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,389,920,283円
コール・ローン等	15,952,804
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド（評価額）	1,193,302,754
未収入金	1,180,664,725
(B) 負債	1,242,239,220
未払金	1,229,682,808
未払信託報酬	12,518,111
その他未払費用	38,301
(C) 純資産総額（A－B）	1,147,681,063
元本	925,540,972
次期繰越損益金	222,140,091
(D) 受益権総口数	925,540,972口
1万口当り基準価額（C/D）	12,400円

* 期首における元本額は1,183,861,480円、当作成期間中における追加設定元本額は10,458,831円、同解約元本額は268,779,339円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は12,400円です。

■損益の状況

当期 自 2021年10月19日 至 2022年 4月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 817円
受取利息	171
支払利息	△ 988
(B) 有価証券売買損益	△ 84,735,305
売買益	130,101,345
売買損	△ 214,836,650
(C) 信託報酬等	△ 12,566,337
(D) 当期繰越損益金 (A + B + C)	△ 97,302,459
(E) 前期繰越損益金	245,775,759
(F) 追加信託差損益金	73,666,791
(配当等相当額)	(46,670,720)
(売買損益相当額)	(26,996,071)
(G) 合計 (D + E + F)	222,140,091
次期繰越損益金 (G)	222,140,091
追加信託差損益金	73,666,791
(配当等相当額)	(46,670,720)
(売買損益相当額)	(26,996,071)
分配準備積立金	245,775,759
繰越損益金	△ 97,302,459

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

(注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：3,509,254円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	46,670,720
(d) 分配準備積立金	245,775,759
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	292,446,479
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	292,446,479
(h) 受益権総口数	925,540,972口

《お知らせ》

■信託期間の延長について

信託期間を 5 年間延長し、信託期間終了日を2022年10月18日から2027年10月18日に変更しました。

■運用指図権限の委託先の商号変更について

当ファンドが投資対象とするマザーファンドの外貨建資産の運用に関する権限の委託先である「ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシー」の商号が「ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシー」に変更されたことを受けて、所要の約款変更を行いました。

為替ヘッジなし

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 証券 組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
5 期末(2020年 4 月20日)	10,127	0	△ 13.4	10,717	△ 4.8	91.1	—	3.9	10,156
6 期末(2020年10月19日)	11,959	550	23.5	12,688	18.4	91.2	—	2.5	8,708
7 期末(2021年 4 月19日)	13,661	1,500	26.8	15,715	23.9	91.0	—	2.7	7,842
8 期末(2021年10月18日)	13,796	1,000	8.3	17,655	12.3	94.1	—	1.8	7,079
9 期末(2022年 4 月18日)	13,993	100	2.2	19,228	8.9	95.7	—	1.8	6,413

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数（円換算）は、S & P 500指数（米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数（米ドルベース）の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

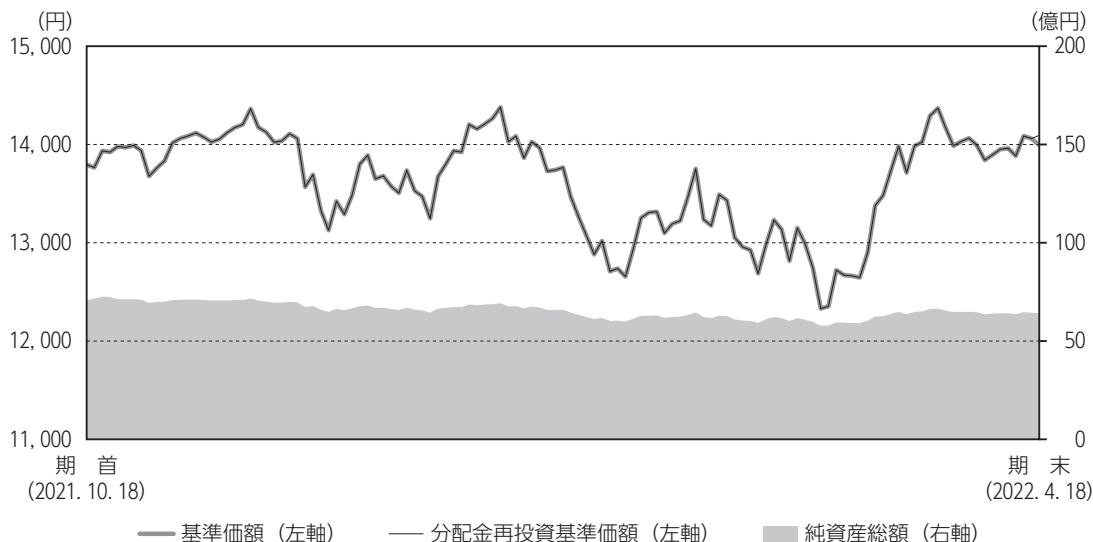
(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：13,796円

期末：13,993円（分配金100円）

騰落率：2.2%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

米国中型株式市場が下落したことにより保有株式は値下がりしましたが、米ドルが対円で上昇（円安）したことから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジなし）

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資信託 証券 組入比率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首)2021年10月18日	13,796	—	17,655	—	94.1	—	1.8
10月末	13,762	△ 0.2	18,054	2.3	94.9	—	1.7
11月末	13,692	△ 0.8	18,301	3.7	93.2	—	1.6
12月末	14,209	3.0	19,050	7.9	94.0	—	1.8
2022年 1 月末	12,941	△ 6.2	17,679	0.1	95.6	—	1.7
2 月末	13,231	△ 4.1	17,507	△ 0.8	95.6	—	1.7
3 月末	14,173	2.7	19,464	10.2	95.2	—	1.8
(期末)2022年 4 月18日	14,093	2.2	19,228	8.9	95.7	—	1.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2021. 10. 19 ～ 2022. 4. 18）

■米国中型株式市況

米国中型株式市場は下落しました。

米国中型株式市場は、米国の底堅い経済指標や堅調な企業決算を背景に、当作成期首より堅調な立ち上がりとなりましたが、その後、インフレ率の上昇や新型コロナウイルスのオミクロン株への懸念が強まり下落しました。2021年12月に入るとオミクロン株への警戒が和らぎ持ち直しましたが、2022年1月にはF R B（米国連邦準備制度理事会）が早期利上げに積極姿勢を示したことから、下落しました。2月以降は、ウイルスの感染者数減少や経済活動正常化などの好材料の一方で、インフレを背景としたF R Bによる金融引き締めスタンスやウクライナ情勢などに一喜一憂する展開となりました。

■為替相場

米ドルは対円で上昇しました。

米ドル円相場は、当作成期首から2022年2月にかけては方向感のない動きとなりましたが、3月に入ると、F R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利見通しを大幅に引き上げたのに対し、日銀は指値オペを行い長期金利上昇の抑制を図るなど、日米の金融政策の相違がより明確となったことから、円安米ドル高が進行しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の中型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行ってまいります。

新型コロナウイルス変異株の感染拡大やサプライチェーン（供給網）の混乱による原材料価格の高騰、インフレ圧力の高まりに加え、米国の債務上限問題なども株式市場のボラティリティを高める要因として慎重にみています。F R B（米国連邦準備制度理事会）によるテーパリング（量的緩

和の縮小）開始は、短期的に米国の経済成長ペースを鈍化させる可能性があることから、相場急変のリスクに備えたポートフォリオを維持しています。引き続き、不透明感の残る環境においても収益拡大が期待できる銘柄の見極めを重視しつつ、長期的な観点で成長が期待でき、バリュエーションが適正な企業の発掘に注力していく方針です。

当ファンドでは、経営陣の質、企業規模、成長の持続性、市場シェアなどの観点から徹底した企業分析を行い、バリュエーションが妥当と判断できる銘柄の選別を重視していきます。今後も市場環境に留意しつつ、財務基盤が良好で高い投下資本利益率が期待できる銘柄に投資していく方針です。

ポートフォリオについて

(2021. 10. 19 ~ 2022. 4. 18)

■当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券に投資し、組入比率を高位に維持しました。

■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

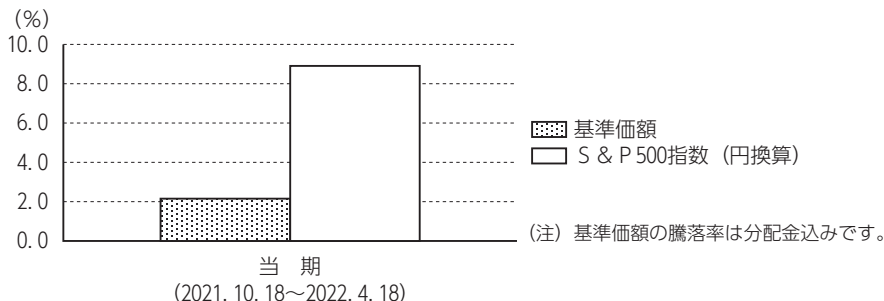
当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシー（商号変更しました。）に運用の指図にかかる権限を委託しております。

株式組入比率は高位を維持しました。セクター別では、引き続き、長期的な成長が期待できる情報技術セクターを中心としたポートフォリオを維持しました。金利上昇が逆風となる可能性がある不動産や一般消費財・サービスセクターの保有比率を引き下げた一方、金利上昇の環境下でも堅調なパフォーマンスが期待できるコミュニケーション・サービスやヘルスケアセクターの保有比率を引き上げました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項目	当 期	
	2021年10月19日 ～2022年4月18日	
当期分配金（税込み）	(円)	100
対基準価額比率	(%)	0.71
当期の収益	(円)	100
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	4,030

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 34.05円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓ 274.94
(c) 収益調整金	654.30
(d) 分配準備積立金	3,166.94
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	4,130.24
(f) 分配金	100.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	4,030.24

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の中型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

インフレの長期化やロシアによるウクライナ侵攻により商品価格が上昇し、世界経済の先行き不透明感が強まることが懸念されます。今後、原材料価格の上昇、労働需給のひっ迫および金利上昇による実態経済への悪影響が見られるようになった場合には、利上げペースをめぐる不確実性を背景にボラティリティが上昇する可能性が高いと考えます。不透明感の継続を考慮し、当戦略は、強固なファンダメンタルズを持ち、持続的な収益成長が期待できる銘柄を見極めることに注力します。引き続き、質が高く、バリュエーションが適正な銘柄を中心にポートフォリオを構築し、長期的に良好なリスク調整後リターンを獲得をめざす方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2021. 10. 19～2022. 4. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	122円	0.894%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は13,614円です。
（投 信 会 社）	(63)	(0.466)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(56)	(0.411)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	1	0.008	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(1)	(0.008)	
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株 式）	(0)	(0.000)	
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
そ の 他 費 用	2	0.017	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(2)	(0.014)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	125	0.919	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

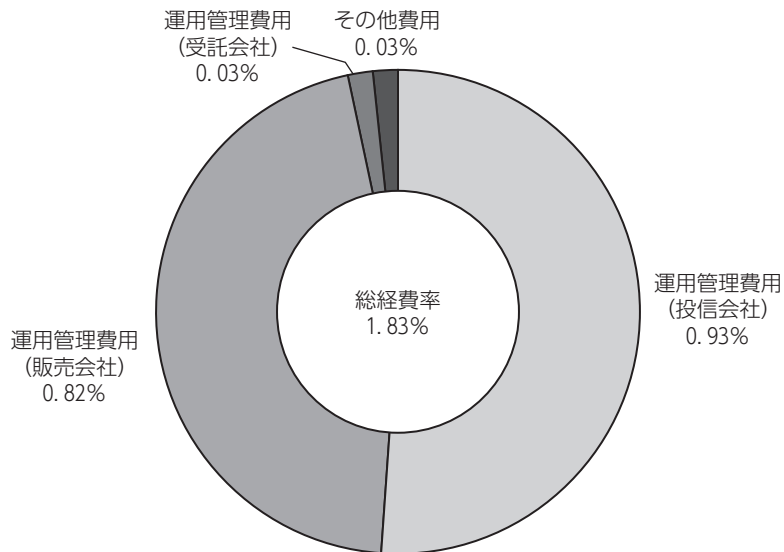
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.83%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2021年10月19日から2022年4月18日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ/ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	54,929	101,000	502,546	969,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2021年10月19日から2022年4月18日まで)

項 目	当 期
	ダイワ/ジャナス米国中型グロース株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	2,118,603千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	7,570,426千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.27

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	□ 数	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千口	千円
ダイワ/ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	3,664,321	3,216,704	6,402,528	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年4月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ/ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	6,402,528	98.2
コール・ローン等、その他	119,776	1.8
投資信託財産総額	6,522,304	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、4月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=126.68円です。

(注3) ダイワ/ジャナス米国中型グロース株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(7,564,104千円)の投資信託財産総額(7,604,615千円)に対する比率は、99.5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年4月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	6,522,304,837円
コール・ローン等	115,776,579
ダイワ/ジャナス米国中型グロース株マザーファンド(評価額)	6,402,528,258
未収入金	4,000,000
(B) 負債	108,652,961
未払収益分配金	45,835,540
未払解約金	4,001,394
未払信託報酬	58,636,252
その他未払費用	179,775
(C) 純資産総額 (A - B)	6,413,651,876
元本	4,583,554,047
次期繰越損益金	1,830,097,829
(D) 受益権総口数	4,583,554,047口
1万口当り基準価額 (C / D)	13,993円

*期首における元本額は5,131,768,913円、当作成期間中における追加設定元本額は152,679,996円、同解約元本額は700,894,862円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は13,993円です。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジなし）

■損益の状況

当期 自 2021年10月19日 至 2022年4月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 9,432円
受取利息	830
支払利息	△ 10,262
(B) 有価証券売買損益	200,457,793
売買益	216,935,903
売買損	△ 16,478,110
(C) 信託報酬等	△ 58,816,027
(D) 当期損益金 (A + B + C)	141,632,334
(E) 前期繰越損益金	1,451,585,086
(F) 追加信託差損益金	282,715,949
(配当等相当額)	(299,902,904)
(売買損益相当額)	(△ 17,186,955)
(G) 合計 (D + E + F)	1,875,933,369
(H) 収益分配金	△ 45,835,540
次期繰越損益金 (G + H)	1,830,097,829
追加信託差損益金	282,715,949
(配当等相当額)	(299,902,904)
(売買損益相当額)	(△ 17,186,955)
分配準備積立金	1,547,381,880

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。
- (注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：16,248,432円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	15,610,960円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	126,021,374
(c) 収益調整金	299,902,904
(d) 分配準備積立金	1,451,585,086
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,893,120,324
(f) 分配金	45,835,540
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,847,284,784
(h) 受益権総口数	4,583,554,047口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)

100円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》

■信託期間の延長について

信託期間を5年間延長し、信託期間終了日を2022年10月18日から2027年10月18日に変更しました。

■運用指図権限の委託先の商号変更について

当ファンドが投資対象とするマザーファンドの外貨建資産の運用に関する権限の委託先である「ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシー」の商号が「ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシー」に変更されたことを受けて、所要の約款変更を行いました。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

運用報告書 第9期（決算日 2022年4月18日）

（作成対象期間 2021年10月19日～2022年4月18日）

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

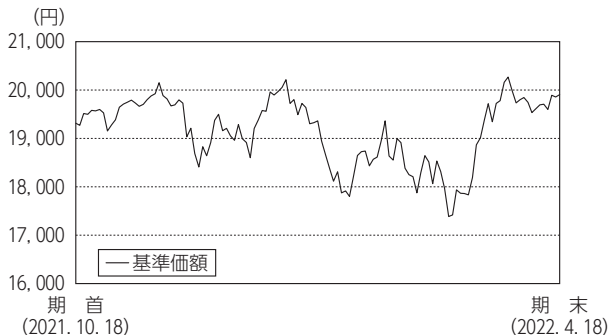
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行いません。
主要投資対象	米国の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）および不動産投資信託証券
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		S & P 500指数 (円換算)		株式組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率
	円	%	(参考指数)	%			
(期首) 2021年10月18日	19,315	—	17,655	—	94.1	—	1.8
10月末	19,278	△ 0.2	18,054	2.3	96.5	—	1.7
11月末	19,210	△ 0.5	18,301	3.7	94.5	—	1.6
12月末	19,969	3.4	19,050	7.9	94.6	—	1.8
2022年1月末	18,206	△ 5.7	17,679	0.1	96.1	—	1.7
2月末	18,644	△ 3.5	17,507	△ 0.8	95.3	—	1.7
3月末	19,994	3.5	19,464	10.2	94.7	—	1.8
(期末) 2022年4月18日	19,904	3.0	19,228	8.9	95.9	—	1.8

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) S & P 500指数 (円換算) は、S & P 500指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：19,315円 期末：19,904円 騰落率：3.0%

【基準価額の主な変動要因】

米国中型株式市場が下落したことにより保有株式は値下がりしましたが、米ドルが対円で上昇 (円安) したことから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○米国中型株式市場

米国中型株式市場は下落しました。

米国中型株式市場は、米国の底堅い経済指標や堅調な企業決算を背景に、当作成期首より堅調な立ち上がりとなりましたが、その後、インフレ率の上昇や新型コロナウイルスのオミクロン株への懸念が強まり下落しました。2021年12月に入るとオミクロン株への警戒が和らぎ持ち直しましたが、2022年1月にはF R B (米国連邦準備制度理事会) が早期利上げに積極姿勢を示したことから、下落しました。2月以降は、ウイルスの感染者数減少や経済活動正常化などの好材料の一方で、インフレを背景としたF R Bによる金融引き締めスタンスやウクライナ情勢などに一喜一憂する展開となりました。

○為替相場

米ドルは対円で上昇しました。

米ドル円相場は、当作成期首から2022年2月にかけては方向感のない動きとなりましたが、3月に入ると、F R B (米国連邦準備制度理事会) が政策金利見通しを大幅に引き上げたのに対し、日銀は指値オペを行い長期金利上昇の抑制を図るなど、日米の金融政策の相違がより明確となったことから、円安米ドル高が進行しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行ってまいります。

新型コロナウイルス変異株の感染拡大やサプライチェーン (供給網) の混乱による原材料価格の高騰、インフレ圧力の高まりに加え、米国の債務上限問題なども株式市場のボラティリティを高める要因として慎重にみています。F R B (米国連邦準備制度理事会) によるテーパリング (量的緩和の縮小) 開始は、短期的に米国の経済成長ペースを鈍化させる可能性があることから、相場急変のリスクに備えたポートフォリオを維持しています。引き続き、不透明感の残る環境においても収益拡大が期待できる銘柄の見極めを重視しつつ、長期的な観点で成長が期待でき、バリュエーションが適正な企業の発掘に注力していく方針です。

当ファンドでは、経営陣の質、企業規模、成長の持続性、市場シェアなどの観点から徹底した企業分析を行い、バリュエーションが妥当と判断できる銘柄の選別を重視していきます。今後も市場環境に留意しつつ、財務基盤が良好で高い投下資本利益率が期待できる銘柄に投資していく方針です。

◆ポートフォリオについて

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシー (商号変更しました。) に運用の指図にかかる権限を委託しております。

株式組入比率は高位を維持しました。セクター別では、引き続き、長期的な成長が期待できる情報技術セクターを中心としたポートフォリオを維持しました。金利上昇が逆風となる可能性がある不動産や一般消費財・サービスセクターの保有比率を引き下げた一方、金利上昇の環境下でも堅調なパフォーマンスが期待できるコミュニケーション・サービスやヘルスケアセクターの保有比率を引き上げました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

インフレの長期化やロシアによるウクライナ侵攻により商品価格が上昇し、世界経済の先行き不透明感が強まることが懸念されます。今後、原材料価格の上昇、労働需給のひっ迫および金利上昇による実態経済への悪影響が見られるようになった場合には、利上げペースをめぐる不確実性を背景にボラティリティが上昇する可能性が高いと考えます。不透明感の継続を考慮し、当戦略は、強固なファンダメンタルズを持ち、持続的な収益成長が期待できる銘柄を見極めることに注力します。引き続き、質が高く、バリュエーションが適正な銘柄を中心にポートフォリオを構築し、長期的に良好なリスク調整後リターンを獲得をめざす方針です。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	2円
(株式)	(2)
(投資信託証券)	(0)
有価証券取引税	0
(株式)	(0)
(投資信託証券)	(0)
その他費用	3
(保管費用)	(3)
(その他)	(0)
合 計	4

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

(1) 株 式

(2021年10月19日から2022年4月18日まで)

	買 付		売 付	
	株 数	金 額	株 数	金 額
外国	百株	千アメリカ・ドル	百株	千アメリカ・ドル
アメリカ	498.55 (92.61)	4,318 (△ 13)	1,320.91	13,750

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2021年10月19日から2022年4月18日まで)

	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国	千口	千アメリカ・ドル	千口	千アメリカ・ドル
アメリカ	0.16 (ー)	17 (ー)	2.213 (ー)	255 (ー)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

■主要な売買銘柄

(1) 株式

(2021年10月19日から2022年4月18日まで)

当				期			
買		付		売		付	
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
FERGUSON PLC (ジャージー)	6.174	110,249	17,857	LPL FINANCIAL HOLDINGS INC (アメリカ)	5.008	114,646	22,892
TELEFLEX INC (アメリカ)	1.98	76,416	38,594	COOPER COS INC/THE (アメリカ)	2.069	96,442	46,612
AVANTOR INC (アメリカ)	13.544	56,502	4,171	AON PLC-CLASS A (アイルランド)	2.718	96,355	35,450
DOLLAR TREE INC (アメリカ)	1.587	31,278	19,708	ICON PLC (アイルランド)	2.945	86,080	29,229
WABTEC CORP (アメリカ)	1.907	22,015	11,544	KLA CORP (アメリカ)	1.937	85,148	43,959
UPWORK INC (アメリカ)	5.535	20,865	3,769	BROADRIDGE FINANCIAL SOLUTIO (アメリカ)	4.245	84,365	19,874
ICU MEDICAL INC (アメリカ)	0.695	18,182	26,162	NICE LTD - SPON ADR (イスラエル)	2.465	76,575	31,065
ZIFF DAVIS INC (アメリカ)	1.068	12,759	11,947	RITCHIE BROS AUCTIONEERS (カナダ)	10.267	75,793	7,382
NXP SEMICONDUCTORS NV (オランダ)	0.447	10,912	24,412	VERISK ANALYTICS INC (アメリカ)	2.549	65,143	25,556
DENTSPLY SIRONA INC (アメリカ)	1.64	10,377	6,328	SVB FINANCIAL GROUP (アメリカ)	0.787	61,285	77,871

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2021年10月19日から2022年4月18日まで)

当				期			
買		付		売		付	
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
LAMAR ADVERTISING CO-A (アメリカ)	0.16	2,033	12,708	LAMAR ADVERTISING CO-A (アメリカ)	2.213	29,534	13,345

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国株式

銘柄	株数	当 株数	期 末		業種等
			評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
BROADRIDGE FINANCIAL SOLUTIO	109.46	68.62	1,053	133,451	情報技術
VERISK ANALYTICS INC	25.49	—	—	—	資本財・サービス
FIDELITY NATIONAL INFO SERV	82.17	77.12	790	100,089	情報技術
WR BERKLEY CORP	197.67	273.81	1,867	236,629	金融
DOLLAR TREE INC	—	15.87	274	34,790	一般消費財・サービス
DENTSPLY SIRONA INC	121.42	129.67	636	80,605	ヘルスケア
ALLIANT ENERGY CORP	196.31	188.27	1,193	151,185	公益事業
TE CONNECTIVITY LTD	141.91	136.13	1,645	208,456	情報技術
MSCI INC	7.7	6.2	299	37,912	金融
SS&C TECHNOLOGIES HOLDINGS	264.94	254.1	1,806	228,802	情報技術
ARAMARK	193.98	186.04	688	87,247	一般消費財・サービス
CBOE GLOBAL MARKETS INC	50.07	48.02	563	71,373	金融

銘柄	期首		期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
GLOBAL PAYMENTS INC	60.74	58.27	815	103,306	情報技術
TERMINIX GLOBAL HOLDINGS INC	159.15	152.67	701	88,887	一般消費財・サービス
BURLINGTON STORES INC	20.26	21.6	461	58,515	一般消費財・サービス
TELEFLEX INC	17.19	35.91	1,208	153,131	ヘルスケア
HUNT (JB) TRANSPRT SVCS INC	100.43	81.84	1,407	178,331	資本財・サービス
CATALENT INC	104.41	85.54	832	105,457	ヘルスケア
WEX INC	83.78	80.35	1,393	176,560	情報技術
SVB FINANCIAL GROUP	14.06	6.31	319	40,531	金融
NATIONAL INSTRUMENTS CORP	246.77	236.67	916	116,057	情報技術
LPL FINANCIAL HOLDINGS INC	179.4	133.12	2,865	362,973	金融
NEUROCRINE BIOSCIENCES INC	54.3	52.09	517	65,505	ヘルスケア
DOLBY LABORATORIES INC-CL A	74.86	62.46	486	61,582	情報技術
ZURN WATER SOLUTIONS CORP	110.81	—	—	—	資本財・サービス
AMDOCS LTD	202.37	194.09	1,605	203,386	情報技術
CIMPRESS PLC	85.68	80.42	486	61,594	資本財・サービス
ICU MEDICAL INC	33.29	38.05	850	107,750	ヘルスケア
REGAL REXNORD CORP	24.7	15.77	217	27,544	資本財・サービス
L3HARRIS TECHNOLOGIES INC	58.52	56.13	1,444	183,032	資本財・サービス
NXP SEMICONDUCTORS NV	22.35	25.34	430	54,571	情報技術
EMERGENT BIOSOLUTIONS INC	21.62	—	—	—	ヘルスケア
LIBERTY MEDIA CORP-LIBERTY-C	165.94	159.14	1,092	138,417	コミュニケーション・サービス
ZIFF DAVIS INC	32.5	40.87	397	50,376	コミュニケーション・サービス
SAREPTA THERAPEUTICS INC	35.29	33.85	275	34,926	ヘルスケア
KLA CORP	50.92	31.55	1,014	128,487	情報技術
LAM RESEARCH CORP	13.78	8.04	366	46,460	情報技術
ATLASSIAN CORP PLC-CLASS A	21.63	16.82	446	56,539	情報技術
RYANAIR HOLDINGS PLC-SP ADR	70.08	67.23	644	81,658	資本財・サービス
NICE LTD - SPON ADR	66.41	42.89	917	116,272	情報技術
RITCHIE BROS AUCTIONEERS	231.27	133.15	740	93,799	資本財・サービス
GILDAN ACTIVEWEAR INC	291.08	223	795	100,738	一般消費財・サービス
WAYFAIR INC- CLASS A	34.47	33.06	357	45,327	一般消費財・サービス
MICROCHIP TECHNOLOGY INC	217.34	177.05	1,154	146,279	情報技術
ASCENDIS PHARMA A/S - ADR	22.34	25.81	291	36,897	ヘルスケア
GODADDY INC - CLASS A	188.11	180.44	1,559	197,585	情報技術
ELANCO ANIMAL HEALTH INC	210.12	213.22	559	70,903	ヘルスケア
FRONTDOOR INC	139.57	133.89	436	55,276	一般消費財・サービス
WIX.COM LTD	32.52	27.45	246	31,202	情報技術
STERIS PLC	39.07	36.01	880	111,516	ヘルスケア
REDFIN CORP	86.29	82.76	120	15,275	不動産
INGERSOLL-RAND INC	188.02	163.2	757	96,010	資本財・サービス
CERIDIAN HCM HOLDING INC	125.63	120.5	730	92,551	情報技術
PERKINELMER INC	49.43	47.41	765	96,947	ヘルスケア
AVANTOR INC	—	131.76	414	52,511	ヘルスケア
DYNATRACE INC	99.29	89.39	374	47,435	情報技術
ABCAM PLC-SPON ADR	97.37	93.39	171	21,721	ヘルスケア
SENSATA TECHNOLOGIES HOLDING	313.72	300.89	1,425	180,635	資本財・サービス
VROOM INC	114.51	—	—	—	一般消費財・サービス
OSCAR HEALTH INC - CLASS A	50.32	—	—	—	金融
ON SEMICONDUCTOR CORP	401.21	384.79	2,049	259,616	情報技術

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

銘柄	期首		当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円		
COURSERA INC	20.63	—	—	—	一般消費財・サービス	
ICON PLC	29.32	—	—	—	ヘルスケア	
RYAN SPECIALTY GROUP HOLDINGS INC	6.06	5.8	22	2,890	金融	
CONSENSUS CLOUD SOLUTIONS INC	3.02	—	—	—	情報技術	
UPWORK INC	—	55.35	115	14,626	資本財・サービス	
WABTEC CORP	76.07	92.62	825	104,624	資本財・サービス	
WATERS CORP	23.6	13.68	404	51,190	ヘルスケア	
FERGUSON PLC	—	61.74	814	103,240	資本財・サービス	
TELEDYNE TECHNOLOGIES INC	24.64	22.17	1,064	134,875	情報技術	
BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC	57.23	54.89	455	57,678	ヘルスケア	
AON PLC-CLASS A	48.32	21.14	693	87,908	金融	
SCHWAB (CHARLES) CORP	62.64	41.61	344	43,618	金融	
FLEX LTD	618.41	593.14	1,013	128,337	情報技術	
ILLUMINA INC	6.71	6.3	211	26,854	ヘルスケア	
SEALED AIR CORP	127.11	121.93	822	104,137	素材	
CARMAX INC	119.1	114.24	1,048	132,837	一般消費財・サービス	
COOPER COS INC/THE	41.85	21.6	863	109,347	ヘルスケア	
BOSTON SCIENTIFIC CORP	413.69	388.26	1,718	217,642	ヘルスケア	
VISTEON CORP	40.19	30.37	287	36,375	一般消費財・サービス	
ファンド合計	株数、金額	8,172.63	7,442.88	57,474	7,280,821	
	銘柄数<比率>	76銘柄	72銘柄		<95.9%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資信託証券

銘柄	期首		当 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	千□	千□	千アメリカ・ドル	千円	
(アメリカ)					
LAMAR ADVERTISING CO-A	11.658	9.605	1,082	137,189	
合 計	□ 数、金額	11.658	9.605	1,082	137,189
	銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄		<1.8%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年4月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	7,280,821 千円	95.7 %
投資信託証券	137,189	1.8
コール・ローン等、その他	186,604	2.5
投資信託財産総額	7,604,615	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、4月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝126.68円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(7,564,104千円)の投資信託財産総額(7,604,615千円)に対する比率は、99.5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年4月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	7,604,615,570円
コール・ローン等	178,818,144
株式(評価額)	7,280,821,386
投資信託証券(評価額)	137,189,848
未収入金	6,158,011
未収配当金	1,628,181
(B) 負債	8,824,389
未払金	4,824,389
未払解約金	4,000,000
(C) 純資産総額(A-B)	7,595,791,181
元本	3,816,233,427
次期繰越損益金	3,779,557,754
(D) 受益権総口数	3,816,233,427口
1万口当り基準価額(C/D)	19,904円

* 期首における元本額は4,518,615,926円、当作成期間中における追加設定元本額は64,312,202円、同解約元本額は766,694,701円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド(為替ヘッジあり) 599,529,117円
 ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド(為替ヘッジなし) 3,216,704,310円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は19,904円です。

■損益の状況

当期 自 2021年10月19日 至 2022年4月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	29,980,269円
受取配当金	27,487,145
受取利息	18,196
その他収益金	2,484,212
支払利息	△ 9,284
(B) 有価証券売買損益	183,446,926
売買益	1,243,251,288
売買損	△ 1,059,804,362
(C) その他費用	△ 1,125,521
(D) 当期損益金(A+B+C)	212,301,674
(E) 前期繰越損益金	4,208,973,581
(F) 解約差損益金	△ 696,405,299
(G) 追加信託差損益金	54,687,798
(H) 合計(D+E+F+G)	3,779,557,754
次期繰越損益金(H)	3,779,557,754

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

《お知らせ》

■運用指図権限の委託先の商号変更について

当ファンドの外貨建資産の運用に関する権限の委託先である「ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシー」の商号が「ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシー」に変更されたことを受けて、所要の約款変更を行いました。